

残業が慢性化している…
スタッフの不満が溜まって大量離職が起きそう…
採用してもスタッフがなかなか育たない…

東阪会場大好評御礼につきアンコールWeb開催

開業たった3年で作り上げた

1時間^{当たり}30名^{を診る} 診療効率化の仕組みを 大公開^{セミナー}

動画も使って

開業3年の耳鼻科クリニックが——
「診療効率化」を武器に**残業ほぼなし**で
年間医業収入**1.8億円**を達成できた理由とは？

動画解説

Point!

1. 医療クラーク2名体制によるロスタイム“ゼロ”の診療
2. 導線の最適化による無駄な時間“ゼロ”の患者さんの流れ
3. 新卒1年目のスタッフが半年でクラークとして即戦力になる教育体制
4. 徹底した効率化&組織マネジメントを支えるIT・デジタル活用

特別ゲスト講師

楓みみはなのどクリニック
院長 中下 陽介 氏

耳鼻科効率化セミナー2024【1時間で30名の仕組み大公開】

お問い合わせNo. S116117

サステナブルな成長を促す
Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。) → 108289

耳鼻科効率化セミナー 2024【1時間で30名の仕組み大公開】

開催要項

開催日時	2024年7月7日(日) 10:00~13:30 (受付開始:開始時間30分前~)	開催方法	オンライン開催
	2024年7月10日(水) 14:30~18:00 (受付開始:開始時間30分前~)		
	2024年7月11日(木) 14:30~18:00 (受付開始:開始時間30分前~)	お申込み期日	銀行振込み : 開催日6日前まで クレジットカード: 開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合がございます。
	2024年7月14日(日) 10:00~13:30 (受付開始:開始時間30分前~)		

愛知県一宮市、および周辺市でご開業されている先生は都合上ご参加をお断りする可能性がございます。

受講料

一般価格 税抜 30,000円(税込 33,000円)/一名様 会員価格 税抜 24,000円(税込 26,400円)/一名様
●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

第1講座

耳鼻科2024年の時流と診療効率化の意義について

診療報酬改定を目前に迎えた2024年2月時点における耳鼻科経営のポイントと、診療効率化の意義をお伝えします。

株式会社船井総合研究所 医療支援部 名雪 希望



第2講座

特別ゲスト講座: 1時間30名診療の仕組みと教育体制

圧倒的事例を持たれる楓みみはなのどクリニックの診療効率化と教育体制のエッセンスをお伝えします。

見どころ① 1時間30名の診療を実現する、診療効率化の事例を直々にお伝えいただきます。

見どころ② 実際の診療風景を動画を見ながら、オペレーション体制を学べます。

見どころ③ 新卒1年目でもクラークとして活躍できるような教育体制について解説いただきます。

楓みみはなのどクリニック 院長 中下 陽介 氏



第3講座

診療効率化実践講座: 効率化事例・ノウハウ大公開

ゲスト講座の補足と、診療効率化のノウハウについて体系的に整理してお伝えさせていただきます。

見どころ① ゲスト講座でお伝えしきれなかった内容を含め、診療効率化について実際の事例やノウハウをお伝えします。

見どころ② 診療効率化に必要な人材採用や教育における事例、また、効率化を実現した先のマーケティング戦略についても、耳鼻科経営に関わるテーマを総合的にお伝えします。

株式会社船井総合研究所 医療支援部 鹿嶋 洸作



第4講座

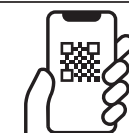
まとめ講座

本日のまとめと、絶対に行っていただきたいことをお伝えします。

株式会社船井総合研究所 医療支援部 マネージャー 井上 駿



お申込み方法



【QRコードからのお申込み】

右記QRコードからお申込みください。



【PCからのお申込み】

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/108289>

船井総研ホームページ (<https://www.funaisoken.co.jp>) に
右上検索窓に「108289」をご入力し検索ください。

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。



徹底的な教育体制整備&効率化で開業たった3年で 年間医業収入 **1.8 億円**・**残業ほぼなし**の クリニックへのストーリー



楓みみはなのどクリニック
院長 **中下 陽介** 氏

2020 年に愛知県一宮市に楓みみはなのどクリニックを開業。コロナ禍開業にも関わらず、積極的なマーケティングを展開し、開業 3 年以内に「医師 1 名で年間医業収入 1.8 億円」ベースを達成。また、クリニック運営の仕組み化・IT 化にも積極的に取り組み、耳鼻科クリニックとしては最高レベルの 1 時間当たり 30 名診療を常時安定できる体制を作り上げている。

開業当時のクリニック

楓みみはなのどクリニックが開業したのは、今から 3 年前のことです。開業したのは 2020 年 10 月、世間は新型コロナウイルス感染症の第二波の真っ最中でした。今はコロナ禍は昔のことのように思えてしまいましたが、当時は外出すら大いに制限されていた時期です。開業したばかりのときは、患者さんも途切れ途切れになり、診療時間中に院長自らホームページの原稿を執筆したり、マニュアルを整理していたのを覚えています（笑）。しかし、ありがたいことに患者さんは少しずつ増えていき、花粉シーズンを迎えると、患者さんは 1 日あたり 100 人程度来る日も出てくるようになりました。

これで最初の壁は超えたか…に思われましたが、実は当院の組織状態がどんどん良くない方向に向かっていた…。

新卒採用主義と教育体制の整備

感じただけの方を採用し、当院で活躍できるスタッフを中心に組織を作り上げていきました。今では常勤スタッフは 13 名在籍しています。スタッフ 3 名の時があったとは考えられないほどに大きな組織へと変わっていきまし、新卒・第二新卒採用したスタッフが、リーダー・サプリーダーと診療業務以上の業務も担えるようになり、スタッフ主導で新たな提案が生まれ、実行する組織へとなっていました。



開業半年でスタッフが 9 名離職!?

ありがたいことに患者さんが徐々に増えていき、医院も大きくなっていく…はずが、患者さんの増加スピードに当院スタッフの成長が追い付かずにいました。

当時頼りにしていて幹部的なスタッフと、その他のスタッフとの人間関係が悪化していき、スタッフが月をまたぐごとに 1 人、また 1 人と退職届を持ってくる…、

当時は本当に苦しかったです。そうになると、慢性的に人材が不足してきます。患者さんをテンポよく診るためには、電子カルテを操作してくれるクラークが必須ですが、そもそもできる人がほとんどおらず…、かと言ってクラークを無くしてしまうのもそれは悔しく…、今となつては考えられな

た。スタッフは定着せず、診療効率は上がらず、あまり楽しくない日々を送っていました。

極めつけは、この状況を打破しようとして、医院の経営方針を発表する場を設けたのですが、想いが上手く伝わらず、経営方針発表会の 2 日後に幹部スタッフが退職を願い出てしまい……。最終的に残ったスタッフ 4 名と私で診療を何とか回していました。

それ以来、私は二度とこのような事態が起きないように、組織体制や教育体制の徹底的な整備をすること、そして、診療効率化により残業時間を少なく、スタッフにとっても働きやすいような職場づくりを目指すことを決意しました。

あのような大量離職・人手不足はもう起きないよう、まずは教育体制を整備しました。幸いにも、開業当初暇なときに整備していたマニュアルが活躍しました。マニュアルを中心に据えつつ、実践や座学的なテストの結果に応じて評価するシステム（当院ではメーブル制度と呼んでいます）を作り上げました。

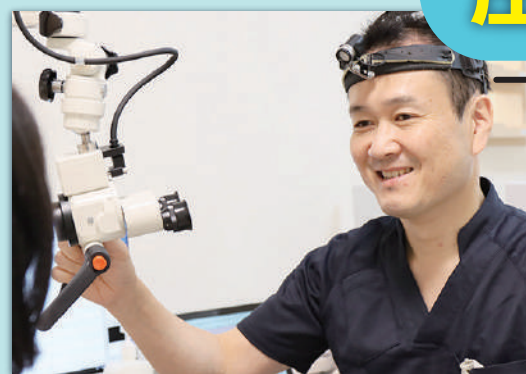
適宜アップデートも重ねながら、メーブル制度は今もフル稼働しています。当院の教育システムに沿えば、専門学校を卒業した医療事務スタッフも半年間でクラークとして立派に活躍できます。（実際、導入後に入職したスタッフ 6 名中全員、クラークとして大活躍しています！）今ではスタッフ面談や評価制度にもデジタルツールを積極的に用いながら、効率よく仕組みを回せるように工夫もしています。

また、半年でクラークができる！と述べたように、スタッフの採用方針も新卒（もしくは第二新卒）採用を中心に転換していきました。素直で成長することができる方、当院の理念・クレドに考え方に共

圧倒的な効率化の事例紹介

当院の最大の特徴の2つ目が、**圧倒的な診療効率化**です。

現在では安定して1時間あたり30名の診察、テンポの良い時には32名くらいのスピードで診察を行なっています。今では1日200名くらい来院されても、**残業はほとんどありません。**
早いからと言って雑というわけではなく、丁寧な診療は行なっていますし、処置もしつかり行います。



では、「丁寧かつ早い」当院の診療のエッセンスは何か？
本紙面上では簡単に3つに絞ってお伝えできればと思います。



事例1！ 診療が途切れない！ ダブルクラーク

当院では医師1名に対して、電子カルテを操作するクラークが2名つく体制となっています。それも、単にクラークが2名つくだけではありません。
診察室には2つの電子カルテクライアントを導入し、カルテ記入時間やカルテ開閉時間のロスもなく、続けざまに診療を行うことができるような体制を作り上げました。当院にはクラークのできるスタッフが
多いからこそ
実現できる
仕組みです。



事例2！

説明をコンパクトに！ 疾患の説明資料

当院でよく説明を行う資料は、全てホームページに掲載していて、診療時にすぐお渡しして説明を時短できるように、紙面にまとめています。このラインナップはなかなか真似できないと思います。開業当初暇だったことが、今になって力になっています（笑）。

資料を揃えているからこそ、スタッフの医療知識の習得にも役立つっており、当院スタッフの早期成長の秘密のひとつです。



事例3！

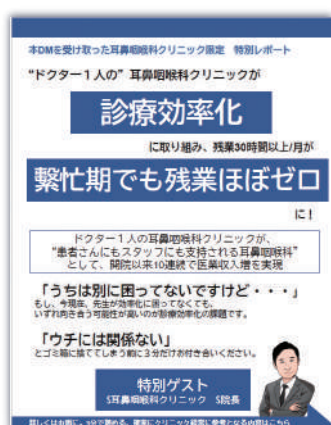
ロスタイムゼロに！ 徹底した動線管理

当院では患者さんの待合室、中待合室や検査の誘導に際しては、移動する場所を徹底的に考えています。詳細は紙面ではお伝えしにくいのでセミナーでもお伝えしますが、少しでも診察のロスタイムが生まれないよう、院内の動線を常に最適化しています。

だからこそ、無駄な時間がないので、「丁寧かつ早い」当院の診療が出来ます。

もちろん、これらの効率化オペレーションは一朝一夕

には成り立つものではありません。少しずつ、ただ確実に院内体制アップデートし、効率化を追求していった結果です。
というのも、1年前はこの船井総合研究所の耳鼻咽喉科効率化のセミナーを受けていた身だったからです。



セミナーを受け、一つ一つのトライ&エラーの繰り返しをしながら、

当院は安定して1時間あたり30名の診察ができるような体制を作り上げました。

今は耳鼻科はどこも忙しく、「残業が多い」「スタッフの不満がいつ爆発してもおかしくない」「もっとクリニックの売上を伸ばしたいが、やむをえず制限している」という院長先生も多いかと思っています。

そのような先生に向けて、当院の教育体制の整備と効率化の事例が参考になれば、同じ耳鼻科開業医として幸いです。

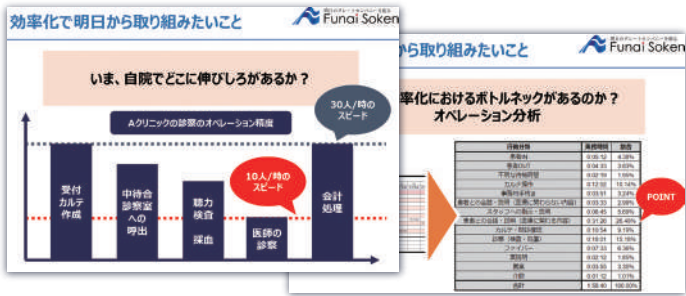


耳鼻咽喉科効率化セミナーの講座内容を少し紹介

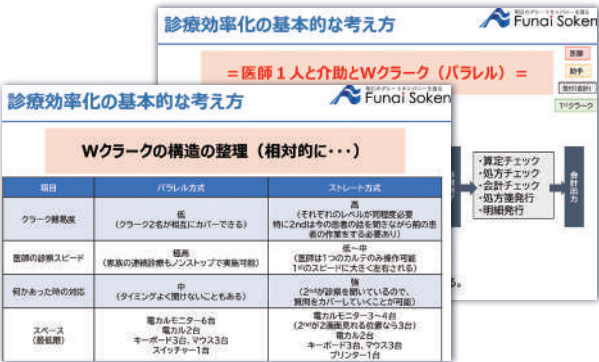
自院のオペレーションを見直す方法を徹底解説！

確かに自院にも診療効率化の余地はありそう…。

でも、どこから手を付けるべきなのか?何をするべきなのか?
診療効率化を進める第一歩から、丁寧にお伝えします。



クランクってどうすれば良いの？クランクは2人いるべきなの？



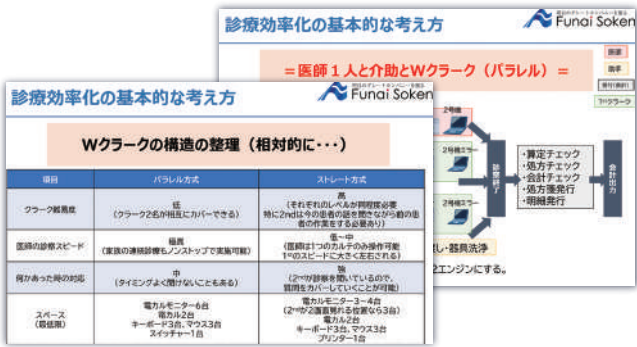
クランクはたしかに診療効率化に直結しそう…。

しかし、導入していない先生にとって、イメージはかなり難しいものです。
実際の事例を動画でもお伝えさせていただくほか、どのようなパターンがあるかについても解説させていただきます。

細かなテクニックや工夫もしっかりお伝えします！

もちろん、呼び出しや説明など時間がかかりがちな
部分をどうやって上手く効率化するのか?…

といった一つ一つの事例も、全国の耳鼻咽喉科をコンサルティングしている船井総合研究所だからこそその視点を持って、しっかりとお伝えさせていただきます。



耳鼻咽喉科の診療効率化について、基本的な施策から、考え方、ゲストの事例や動画を含め、本セミナーで惜しみなく情報をお伝えできればと思います。
セミナーに参加された先生が、院内の業務を改革し、クリニック経営が「良い循環」になっていくきっかけとなれば幸いです。おかげさまで、東京・大阪会場での大好評につき、この度Webでのアンコール開催を実施させていただきます運びになりました。皆様のご参加を心からお待ちしております。

株式会社船井総合研究所

医療支援部

名雪 希望

耳鼻科における診療効率化のポイントをコンサルタントが解説

株式会社船井総合研究所

医療支援部

名雪 希望

ここまで本冊子をお手に取り、お読みいただきありがとうございました。

申し遅れましたが、私、株式会社船井総合研究所で、耳鼻咽喉科クリニックのコンサルティングを行っています「名雪(なゆき)」と申します。

ストーリーはいかがでしたでしょうか。

おそらく、本冊子をお読みいただいた多くの先生は「1時間あたり30名の診療効率化」を「たった3年で」という言葉に興味を持たれたのかと存じます。

それも当然で、多くの耳鼻咽喉科クリニックは、全体的な傾向として患者さんが増加しており、ありがたい悲鳴ではございますが、「残業が多い…」、「スタッフの不満が溜まってしまわないか…」

けれども、「患者さんの受診をお断りするのはい心苦しい…」というジレンマを抱えている先生が多いかと予測します。

そのうえ、昨今の物価上昇、賃上げ……、医療業界でも生産性という視点も欠かせなくなってきました。

一言でまとめると、

「耳鼻咽喉科業界では今、診療効率化が何よりも求められている」といえるのではないのでしょうか。

そのような先生方に向け、今回、1時間あたり30名の診療効率化を実現している楓みみはなのどクリニック 院長 中下陽介氏をゲストとしてお招きし、本セミナーを企画させていただきました。

似たようなテーマの診療効率化セミナーは、昨年も同時期に企画させていただき、大変ご好評をいただきました。そして何より、この度ご登壇いただく楓みみはなのどクリニック 院長 中下陽介氏も、昨年はセミナーを受講する側だったということです。セミナーをきっかけに、クリニックは大きく変わることができるのです。